

中之島 宣言

本会議での提言(合意事項)は、

関西・大阪文化力会議2011『中之島宣言』として、

広く市民や行政に呼びかけていきます。

1. 問題意識

- 東アジア諸国がダイナミックな発展を遂げる今日、日本の相対的なプレゼンスは低下し、文化・価値観の多様な広がり、新たな摩擦を生じさせる可能性を孕んでいる。
- グローバル化が進むなか、日本は自らのアイデンティティを再認識し、誇りと自信をもってそれを語り、各国との相互理解を促進し、交流を深めなければならない。
- 国の政策が大きく揺れる今、関西の町衆精神を発揮し、民が行動を起すときである。

2. 日本文化の再認識を！

- 経済成長一辺倒になりがちな社会において、文化は人生を豊かにし、魅力的な都市づくりと、国際社会における日本の地位の向上に貢献する。
- 日本のアイデンティティの源泉は関西にあることを再認識し、自然を畏敬し、共棲する思想や、神々への信仰など、日本文化を関西から発信する。
 - －上方伝統文化と創造
 - －“縦書き文化”による異文化理解と漢字の役割
 - －商家の教えなど、関西が培った経営哲学を世界に発信

3. プロデュース力の発揮！

- 地域のポテンシャルを引き出すプロデュース力(デザイ

ンカ・構成力)を最大限に発揮する。

- －伝統・祭礼行事を核に、国の起源に由来する社寺が集中する上町台地の活性化
- －大阪駅前に残された最後の一等地、北ヤードの水都を発信する新たな創造的文化拠点化
- 文化をプロデュースし、発信するためのオール関西・大阪のプラットフォームを整備する。
 - －オール関西で展開する「はなやか関西の文化首都運動」

4. 相互理解のための国際交流の促進！

- 東アジアの安定的な発展のため、民間が中心となり相互理解のための海外文化交流を強化する。
 - －仮称“日中文化交流センター”の実現
 - －民間(個人ベース)交流のさらなる活性化
- 若者支援

5. 文化力向上の仕組みづくり！

- “人こそ文化！”、文化的な感性を養う教育に力を注ぐ。
 - －小学生から身近に芸術作品(音楽・美術・伝統芸能など)に触れ、文化に興味を持たせる工夫。都市ミュージアムの充実。若手活動家の表彰
- 国・自治体への要望
 - －文化活動を推進する上での自治体の規制緩和・事務手続きの簡素化

閉会挨拶

大阪国際フォーラム会長 秋山喜久



日本は世界一の長寿国で所得水準も高く、総合的な国力は世界第9位にランクされています。しかし国民の幸福度は90位と低い。この差は何かということについて、私たちは真剣に検討する必要があると思います。また、企業が海外進出するにあたっては、日本の歴史や文化をバックボーンにしないと失敗するといわれます。その意味で、関西を元気にするには文化力が不可欠です。幸い関西は歌舞伎や文楽といった伝統文化の発祥地であり、日本の世界遺産の半数近くがあるなど、文字通り日本の歴史・文化の中心的地域であります。

本日はパネリストの方々から大変貴重なご示唆をいただき、これを中之島宣言にまとめました。今後はこれに基づき、関西の文化力を高め、より強く世界に向けて発信していきたいと思っております。ありがとうございました。